

留学レポート 1月

森本 蔵人

とてもこちらの冬は寒く、雪はないものの乾燥して冷たいせいか体の芯から凍えるような寒さでした。学期終盤で年末年始もありとてもいろいろなことがありました。

まずは thanks giving、これはアメリカでは毎年11月の第4木曜日に家族や友人が集まって収穫や日々の恵みに感謝を捧げる国民的な祝日なのですが、やはりその週はどのアメリカ人も実家に帰って過ごすので大学周りはデッドタウンになります。私はその時期にフェイエットビルにいてもつまらないしステイする宛てもなかったので、一人でカンザスシティに行くことにしました。アメリカではグレイハウンドというバスが一般的でそれに乗っていきました。気温はマイナスでずっと凍えていました。着いてからは観光地やダウンタウンなどを回りましたが thanks giving ということもあり、人はおらず店も開いていませんでした。贅沢にお金が使えられるわけではないので、ホテルをとらず野宿をする予定でしたが、その話をするとどのアメリカ人の友人もカンザスシティで野宿をすることだけはやめろといわれてしまいました。やはり、アメリカは日本と違い治安が悪くドラッグも蔓延しており、ギャングもいて危険です。気をつけてください。

期末テストはなんとか教授にかけあったり、必死にテスト勉強をしたりしたことで思っていたよりよく終わることができました。テストが終わると学校全体がお祭りモードになります。

ルームメイトが全員ドイツ人で彼らも交換留学生でしたが、一学期だけだったのでドイツに帰ってしまいました。ルームメイトだけでなく他の国の交換留学生とも仲良くしていたので彼らが全員行ってしまって別れの日にはみんな涙を流しました。世界のあちこちに涙を流せる友ができたし、その国に行きたいと思っています。

冬休みはダラスで友達の家で2週間弱ホームステイさせてもらいました。そのあとカナダに10日間ほど別の家にステイさせてもらいました。ダラスではさまざまなところに連れて行ってもらい、いい体験ができました。本場のリアルなクリスマス体験できてよかったし、カウボーイで有名な fort worth にもいけてよかったです。

1月1日にダラスからバンクーバーまで行き、父の友人の家にステイしました。カナ

ダは私の好きな国で自然がとても美しいです。アウトドアなファミリーだったので、ほぼ毎日山登りか、ハイキングを重りを背負ってしていました。アイスホッケーを見たり、ひとりで列車に乗って遠出をしたりと楽しみました。それぞれ通して感じたのはこのホームステイ期間で格段に英語が伸びたと思うことです。朝から晩まで、友達と話していたので伸びました。

新学期になり、またいろいろな不安がありますが頑張っていきたいです。





